

# 新観光ビジョン

## ? なぜこの事業を行なっているのですか？

台東区は、史跡、芸術、芸能などの豊富な文化資源や多彩な行事など、魅力ある観光資源を数多く持つ、国際観光都市です。

この特徴を活かすため、平成13年に23区で初めて「観光ビジョン」を策定し、観光に関する取り組みを積極的に行なってきましたが、この間、「東京スカイツリー」の建設など、区を取り巻く環境は大きく変化しています。

こうした変化に適切に対応し、台東区の更なる魅力の向上とにぎわいの創出を目指すため、平成22年3月に新たな「新観光ビジョン」を策定しました。

## ? どのようなことを行なっていますか？

「新観光ビジョン」では、台東区の観光の目標とする姿を「本物に会えるまち」としており、この目標に向けた取り組みとして、平成22年度から26年度までの今後5年間に実施する86の具体的な事業と7つの戦略プロジェクトを盛り込んでいます。

観光振興を単に観光客に向けた取り組みとするだけでなく、区民の生活向上へつなげる取り組みとして位置づけ、観光地としても生活の場としても輝ける台東区を目指しています。

### ●主な事業

#### 【周辺区と連携した散策マップの作成（広域連携による観光コースづくり）】

区のエリアを越えてまち歩きなどを楽しむ観光客の利便性を図るため、隣接区と連携して散策マップを作成します。

これまで、荒川区と連携した「日暮里・谷中散策マップ」、また、東京スカイツリーの開業にあわせて墨田区と台東区を合わせた観光マップを作成しました。

#### 【浅草文化観光センターにおける案内・支援サービスの充実】

台東区の観光拠点として浅草文化観光センターを建替え、展望テラスをはじめ、大型ビジョンによる観光情報の提供や団体旅行者の支援スペースを設けるなど、機能の充実を図ります。また、外国人観光客への対応サービスを強化し、チケット販売や外貨両替を実施します。



散策マップ


## ? 事業の進み具合はどうか？

観光に関係する様々な団体に参加してもらい「台東区新観光ビジョン戦略会議」を設置しています。戦略会議では、各事業の進み具合の確認や団体間の情報の共有化を行ない、計画全体を効果的に進めています。

また、戦略会議の下には「課題別専門部会」を設置しており、各プロジェクトが連携して効果を高められるように、専門的な視点から活発な議論を行なっています。

他のページで紹介している、中小製造業のアトリエ化支援（P 7）、G T S 観光アートプロジェクト（P 1 3）、緑と水辺を活かす隅田公園づくり（P 1 7）、台東区公式ホームページ（P 4 1）も、新観光ビジョンに盛り込まれている事業です。

## ? 今後はどのように取り組んでいくのですか？

新観光ビジョン戦略会議において、各プロジェクトの進み具合を、「P D C A サイクル（解説）」を活用して管理し、台東区が目標とする「本物に会えるまち」に向かって、事業やプロジェクトを効果的に進めていきます。

### ■ この事業に関するお問合せは ■

文化産業観光部にぎわい計画課

03-5246-1328

#### 【解説】

「P D C A サイクル」

各事業を計画（Plan）、実行（Do）、評価（Check）、改善（Act）のプロセスで実行し、このプロセスをらせん状に繰り返す（サイクルさせる）ことによって、品質の維持、向上、業務改善をする考え方です。

Plan …… 目標を設定して、それを実現するためのプロセスを設計する。

Do …… 計画を実施し、その効果を測定する。

Check …… 測定結果を目標と比較するなど分析を行なう。

Act …… プロセスの継続的改善、向上に必要な措置を実施する。